

第66回日本水環境学会セミナー

【学会設立50周年記念事業】

水環境における 病原性ウイルス モニタリング技術の動向

主催：(公社)日本水環境学会

共催：(公社)日本水環境学会COVID-19タスクフォース

後援：全国環境研協議会

期日：2021年1月22日(金)9:55～16:40

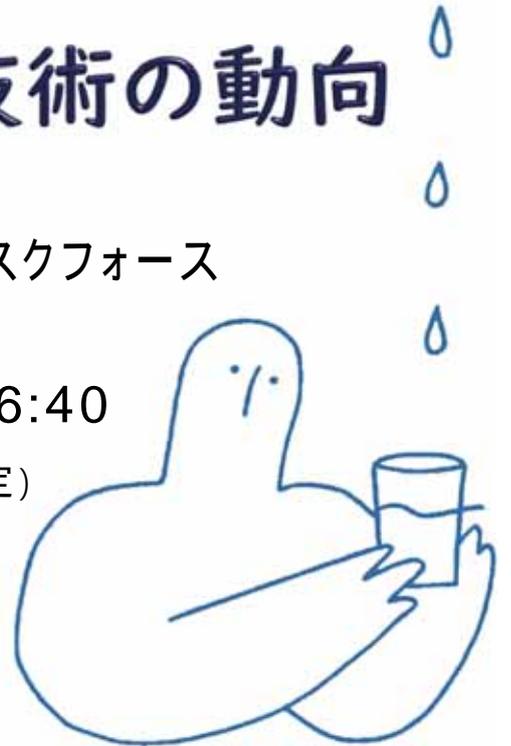
オンラインで開催します(ZOOMシステム予定)

参加費(講演資料集(印刷物)配布はありません)

日本水環境学会の会員の方は無料

非会員 3,000円(税込)

事前参加申込のみ(当日参加はできません)



COVID-19の感染拡大に伴い、生活や産業活動にも大きな影響が出ています。病原性ウイルスは体内で増殖しますが、排出されたウイルスの一部は下水道を通り、河川にまで到達することが明らかになってきています。この下水中や環境水中の病原性ウイルスをモニタリングすることで疫学的な情報を得る試みが国内外で検討されています。環境中でのウイルス動態の研究はどこまで進んでいて、それらは我々に何を教えてくれるのか。本年度は「水環境における病原性ウイルスモニタリング技術の動向」と題し、第66回日本水環境学会セミナーを開催することといたしました。当日は下水や環境水中からのウイルスの検出や定量およびその情報を活用した患者数の推定、また下水や環境中でのウイルス不活化等、各分野の専門家をお招きし、最新の研究についてご講演いただきます。

当セミナーの録音、撮影、データ記録、複製・転載等は禁止とします。
違反者には法的措置をとる場合があります。



公益社団法人 日本水環境学会

水環境における

病原性ウイルスモニタリング技術の動向

2021年1月22日(金)プログラム

- 9:55 ~ 開会挨拶 日本水環境学会副会長 広島大学環境安全センター 西嶋 渉
- 10:00 ~ 環境水サーベイランスによる腸管系ウイルス疫学研究への応用
国立感染症研究所 吉田 弘
- 11:10 ~ 下水からの新型コロナウイルス感染症流行検知の課題と展望
金沢大学理工研究域地球社会基盤学系 本多 了
- 12:10 ~ 昼休み
- 13:10 ~ 下水中ノロウイルス濃度情報発信に関する実証試験の現状と展開
山形大学農学部食料生命環境学科 渡部 徹
- 14:20 ~ 下水や環境中でのウイルスの不活化とモニタリングへの影響
東北大学大学院環境科学研究科 佐野 大輔
- 15:30 ~ 環境水中における病原微生物の汚染実態と微生物指標の活用
山梨大学大学院総合研究部 原本 英司
- 16:30 ~ 閉会挨拶 セミナー企画部会長 京都大学大学院工学研究科 西村 文武
講師の都合等で一部変更となる場合があります。

- 事前参加申込みのみ(当日参加はできません)
- 参加申込み方法: FAX、E-mail、参加申込書に 参加者氏名 氏名フリガナ ご所属先名 E-mailアドレス 電話番号 会員の場合は会員番号をご記入の上、1月18日までに下記宛お申し込みください。
非会員の方は参加費3,000円を1月18日までに下記口座へお振り込みください。
入金を確認後、URL等を記載した参加証(E-mail)をお送りいたします。
- 参加費振込先: 三菱UFJ銀行 市ヶ谷支店(普通) 0754950
(公社)日本水環境学会セミナー口 シャ)ニホンミズカンキョウガッカイセミナーグチ
- セミナー参加証明書の発行について
継続技術者教育(CPD)の観点から、要望に基づきセミナー参加証明書を発行します。
参加証明書の発行(PDF・後日メール送信)を希望される方は参加申込みの際に申し出てください。

申込み・問い合わせ先: 公益社団法人 日本水環境学会 事務局

セミナー係 戸川

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7 グリーンプラザ深川常盤201号

Tel.03-3632-5351 Fax.03-3632-5352

E-mail: togawa@jswe.or.jp

<https://www.jswe.or.jp/>